

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年10月11日 (2018.10.11)

【公開番号】特開2018-134441(P2018-134441A)

【公開日】平成30年8月30日 (2018.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2018-033

【出願番号】特願2018-71411(P2018-71411)

【国際特許分類】

A 4 5 D 20/12 (2006.01)

F 0 4 D 29/44 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 20/12 J

F 0 4 D 29/44 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月20日 (2018.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヘアドライヤの空気流出口端部に取り付けるためのディフューザであって、
ヘアドライヤからの空気流を受け取る少なくとも 1 つの空気入口と、
前記空気流の少なくとも一部を放出する複数の空気出口を含むグリルと、
前記グリルの上流に位置付けられたバッフルと、
を備え、
前記空気出口の各々は、実質的に同じ形状を有し、
前記複数の空気出口は、前記グリルの第 1 の領域に位置する第 1 の組の空気出口と、前記グリルの第 2 の領域に位置する第 2 の組の空気出口と、を含み、
前記グリルは、前記空気出口を実質的に含まない、前記第 1 の領域と前記第 2 の領域との間に位置する少なくとも 1 つの更なる領域を含む、
ことを特徴とするディフューザ。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの更なる領域は、前記グリルの外面の表面積の少なくとも 5 % を占める
ことを特徴とする請求項 1 に記載のディフューザ。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの更なる領域は、前記グリルの外面の表面積の少なくとも 10 % を占める
ことを特徴とする請求項 1 に記載のディフューザ。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの更なる領域は、前記グリルの外面の表面積の 10 ~ 40 % を占める
ことを特徴とする請求項 1 に記載のディフューザ。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの更なる領域は、前記グリルの前記第 1 の領域と前記第 2 の領域との間に位置する環状領域である

ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載のディフューザ。

【請求項 6】

前記第 1 の組の空気出口は、第 1 の環状配列で配置され、

前記第 2 の組の空気出口は、第 2 の環状配列で配置されている

ことを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれかに記載のディフューザ。

【請求項 7】

前記第 1 及び第 2 の環状配列の各々は、半径方向に広がる幅を有し、

前記第 2 の環状配列の前記幅は、前記第 1 の環状配列の前記幅よりも大きい

ことを特徴とする請求項 6 に記載のディフューザ。

【請求項 8】

前記第 1 の環状配列と前記第 2 の環状配列との間の半径方向距離は、5 mm～25 mm である

ことを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載のディフューザ。

【請求項 9】

前記空気出口の各々は、断面が円形である、

ことを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれかに記載のディフューザ。

【請求項 10】

前記空気出口の各々は、形状が切頭円錐形である、

ことを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載のディフューザ。

【請求項 11】

前記空気出口の各々は、前記グリルの内面から前記グリルの外面に延び、

各空気出口において、前記グリルの前記外面上の前記空気出口の周囲の方が、前記グリルの前記内面上の前記空気出口の周囲よりも鋭利である

ことを特徴とする請求項 1 から 10 のいずれかに記載のディフューザ。

【請求項 12】

前記複数の空気出口の各々は、その隣接する空気出口から 0.5 mm～2 mm だけ離間している

ことを特徴とする請求項 1 から 11 のいずれかに記載のディフューザ。

【請求項 13】

前記ディフューザは、平面視で円形を有しており、

前記少なくとも 1 つの空気入口は、前記ディフューザの中心軸から離間している

ことを特徴とする請求項 1 から 12 のいずれかに記載のディフューザ。

【請求項 14】

前記少なくとも 1 つの空気入口は、少なくとも 1 つのスロットを含む

ことを特徴とする請求項 1 から 13 のいずれかに記載のディフューザ。

【請求項 15】

前記少なくとも 1 つのスロットは、環状スロットを含む

ことを特徴とする請求項 14 に記載のディフューザ。

【請求項 16】

前記グリルから直立する、ユーザの毛髪に接触する複数の突出部を備える

ことを特徴とする請求項 1 から 15 のいずれかに記載のディフューザ。

【請求項 17】

前記突出部の少なくとも一部は、前記グリルの前記更なる領域から直立している

ことを特徴とする請求項 16 に記載のディフューザ。

【請求項 18】

前記突出部の各々は、空気入口と、前記グリルの前記空気出口から離間した空気出口と、前記突出部の前記空気入口と前記空気出口との間に延びるボアと、を含み、

前記突出部の前記空気入口は、前記グリルの前記複数の空気出口の各々のサイズよりも大きなサイズを有する、

ことを特徴とする請求項 16 又は 17 に記載のディフューザ。